

野村DCグローバルAI関連株式ファンド

運用報告書(全体版)

第1期（決算日2025年11月14日）

作成対象期間（2025年9月8日～2025年11月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 信託期間 | 2025年9月8日以降、無期限とします。 |
| 運用方針 | 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証書）を含みます。）に実質的に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。 |
| 主な投資対象 | 野村DCグローバルAI関連株式ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 マザーファンド 新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 野村DCグローバルAI関連株式ファンド 株式への実質投資割合には制限を設けません。 マザーファンド 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 マザーファンド 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。 |

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

| 決 算 期 | 基 (分配落) | 基 準 價 額 | | | | | 株組入比率 | 株先物比率 | 純総資産額 |
|--------------------|-------------|---------|--------|----|--------|-----|--------|--------|----------|
| | | 税分 | 込配 | み金 | 期騰 | 中落率 | | | |
| (設定日) 2025年9月8日 | 円 10,000 | | 円 — | | % — | | % — | % — | 百万円 1 |
| 1期(2025年11月14日) | | 10,659 | | 10 | | 6.7 | | 99.1 | |

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 價 額 | 騰 落 率 | 株組入比率 | 株先物比率 | 式 率 |
|----------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| (設定日) 2025年9月8日 | 円 10,000 | % — | % — | % — | % — |
| 9月末 | 10,313 | 3.1 | 98.1 | | — |
| 10月末 | 10,955 | 9.6 | 98.6 | | — |
| (期 末) 2025年11月14日 | 10,669 | 6.7 | 99.1 | | — |

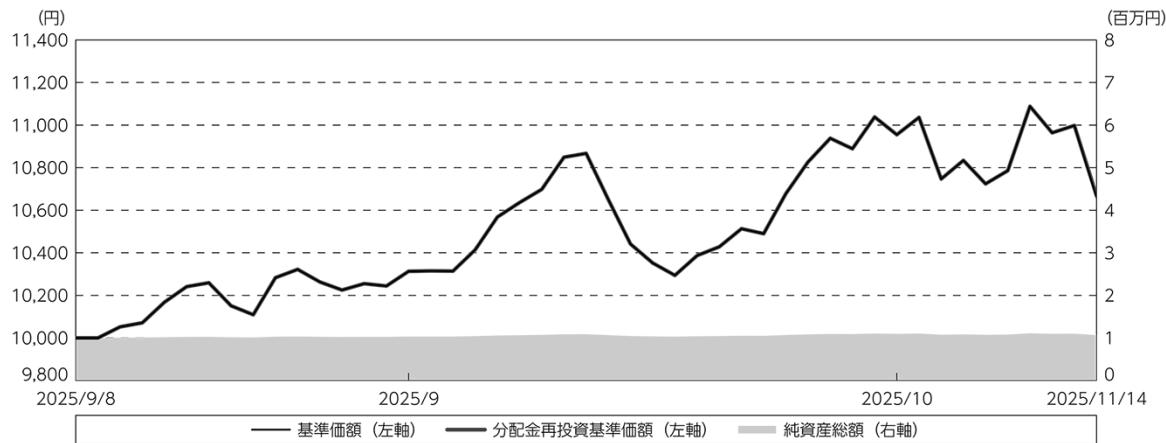
*期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：10,659円 (既払分配金(税込み)：10円)

騰落率： 6.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- 保有銘柄のうち、生成AIの扱うデータ量が増加することに伴い、データを保存するためのHDD（ハードディスクドライブ）への需要が拡大する期待が高まった、米国のコンピュータ・周辺機器株などが上昇したこと
- 9月にFRB（米連邦準備制度理事会）が利下げを実施したこと
- 10月に米国の大手半導体企業とAI関連企業によるAIインフラ構築に関する契約締結が好感されたこと
- 期を通じて米ドルに対して円安が進行したこと

(下落要因)

- 保有銘柄のうち、発表したM&Aに対する投資回収への懸念が生じた米国の航空宇宙・防衛株などが下落したこと
- 10月に米中関係悪化への懸念が高まったこと

○投資環境

世界の株式市場は、9月にFRBが利下げを実施したことなどから上昇して始まり、その後も大手半導体企業とAI関連企業によるAIインフラ構築に関する契約締結が好感されたことなどから継伸しました。10月中旬には、トランプ米大統領が中国に対して関税の引き上げや、大規模な輸出規制を発表したことなどにより米中関係悪化への懸念が高まり下落しましたが、その後米大手IT企業を中心とした堅調な決算発表などが好感され上昇し、当期において世界の株式市場は上昇しました。

為替市場については、米ドルに対して円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

期を通じて、マザーファンドを高位に組み入れました。

マザーファンド

[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用拡大により中長期で成長が期待される情報技術セクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、多数のサーバーを高速接続するための通信機器の需要拡大により、中長期的な成長が期待できると判断した米国の通信機器株や、公共の安全確保や人権意識の高まりによる攻撃性を弱めた自衛機器への需要拡大や、警察などへの業務効率化ソフトウェアの需要拡大を背景に中長期的な成長が期待できると判断した米国の航空宇宙・防衛株などを買い付けしました。一方、保険料を大幅に引き上げた反動により業績成長の鈍化傾向が継続すると判断した米国の保険株や、取り扱いの難しいバイオ医薬品などの配送需要の高まりやAIを活用した受発注業務の効率化などによる業績拡大が一定程度株価に織り込まれたと判断した米国のヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービス株などについては売却を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきました。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第1期 | |
|--------------------|---------------------------|--|
| | 2025年9月8日～ 2025年11月14日 | |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | 10 0.094% | |
| 当期の収益 | 10 | |
| 当期の収益以外 | — | |
| 翌期繰越分配対象額 | 659 | |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

当ファンド

マザーファンドを高位に組み入れます。

マザーファンド

・投資環境

米国経済は、労働市場の弱さは見られるものの底堅く推移しています。雇用サービス会社のADPが公表する2025年9月の民間雇用者数は前月差-2.9万人と、8月（同一-0.3万人）に続き、2カ月連続で減少しましたが、10月は+4.2万人となりました。アトランタ連銀のGDP（国内総生産）予想では、7~9月期の実質GDP成長率は前期比年率+4.0%（11/5時点）と推計されています。物価面では、9月のCPI（消費者物価指数）が前年同月比+3.0%（8月同+2.9%）と小幅ですが加速しています。10月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、0.25%の利下げが決定されましたが、雇用の下振れリスクと物価の上振れリスクのどちらを重視するのかは意見が分かれており、今後の金融政策の不確実性は高く注視が必要です。

・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

株式市場では、短期的にはトランプ米政権による関税政策や税制改革など、今後の景気見通しや金融政策、企業業績に及ぼす影響を注視しています。しかし、中長期的な視点では、多くの企業がAI技術の導入に言及するなど、幅広い業種でAI技術の活用による生産性向上が期待されます。AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がより強くなるという傾向がみられます。加えて、AIを活用したビジネス領域はますます拡大しており、情報技術だけでなく幅広い対象セクターから成長銘柄へ投資を行なってまいります。

(2025年9月8日～2025年11月14日)

○ 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-----------------------|-------|---------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 21 | % 0.201 | (a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投信会社) | (12) | (0.113) | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 |
| (販売会社) | (9) | (0.082) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理および事務手続き等 |
| (受託会社) | (1) | (0.006) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等 |
| (b) 売買委託手数料 | 2 | 0.016 | (b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (2) | (0.016) | |
| (c) その他の費用 | 1 | 0.005 | (c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (0) | (0.001) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合計 | 24 | 0.222 | |
| 期中の平均基準価額は、10,634円です。 | | | |

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

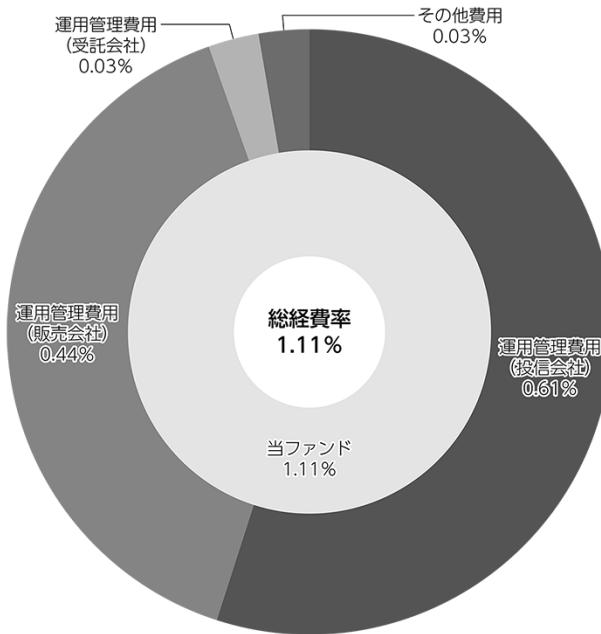
*売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(2025年9月8日～2025年11月14日)

○売買及び取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|---------------------------|-----------|-----------|-------------|---------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド | 千口 219 | 千円 998 | 千口 0.681 | 千円 3 |

＊単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○株式売買比率

(2025年9月8日～2025年11月14日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------------|-------------------|---------------|
| | 野村グローバルAI関連株式ファンド | マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額 | | 128,474,517千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | | 209,812,424千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | | 0.61 |

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年9月8日～2025年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2025年9月8日～2025年11月14日)

| 設定期残高 (元 本) | 当期設定 元 本 | 当期解約 元 本 | 期末残高 (元 本) | 取 引 の 理 由 |
|----------------|-------------|-------------|---------------|-------------|
| 百万円 1 | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 1 | 当初設定時における取得 |

(2025年11月14日現在)

○組入資産の明細

親投資信託残高

| 銘 柄 | 当期末 | |
|---------------------------|-----------|-------------|
| | 口 数 | 評 価 額 |
| 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド | 千口 218 | 千円 1,063 |

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年11月14日現在)

| 項 目 | 当期末 | |
|---------------------------|-------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド | 千円 1,063 | % 99.5 |
| コール・ローン等、その他 | 6 | 0.5 |
| 投資信託財産総額 | 1,069 | 100.0 |

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（199,047,778千円）の投資信託財産総額（204,434,029千円）に対する比率は97.4%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=154.74円、1ユーロ=179.92円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月14日現在)

| 項 目 | 当期末 |
|--------------------------------|----------------|
| (A) 資産 | 円 1,069,035 |
| コール・ローン等 | 5,303 |
| 野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド(評価額) | 1,063,732 |
| (B) 負債 | 3,105 |
| 未払収益分配金 | 1,000 |
| 未払信託報酬 | 2,060 |
| その他未払費用 | 45 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 1,065,930 |
| 元本 | 1,000,000 |
| 次期繰越損益金 | 65,930 |
| (D) 受益権総口数 | 1,000,000口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,659円 |

(注) 期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は1.0659円です。

○損益の状況 (2025年9月8日～2025年11月14日)

| 項 目 | 当期 |
|----------------|-------------|
| (A) 有価証券売買損益 | 円 69,035 |
| 売買益 | 69,053 |
| 売買損 | △ 18 |
| (B) 信託報酬等 | △ 2,105 |
| (C) 当期損益金(A+B) | 66,930 |
| (D) 計(C) | 66,930 |
| (E) 収益分配金 | △ 1,000 |
| 次期繰越損益金(D+E) | 65,930 |
| 分配準備積立金 | 65,930 |

*損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 分配金の計算過程（2025年9月8日～2025年11月14日）は以下の通りです。

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------------|---------------------------|
| | 2025年9月8日～ 2025年11月14日 |
| a. 配当等収益(経費控除後) | 1,074円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 65,856円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 0円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 0円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 66,930円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 669円 |
| g. 分配金 | 1,000円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 10円 |

○分配金のお知らせ

| | |
|-----------------|-----|
| 1万口当たり 分配金（税込み） | 10円 |
|-----------------|-----|

○お知らせ

該当事項はございません。

野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日2025年11月14日）

作成対象期間（2024年11月15日～2025年11月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、グローバルな視点でAI先端技術の研究成果に着目し、AI技術の実用化に伴って投資魅力が高まると考えられるAI関連分野の銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。 |
| 主な投資対象 | 新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 株組入比率 | 株先物比率 | 純総資産額 |
|-----------------|----------|--------|--------|-------|-------------|
| | 期騰落 | 中率 | | | |
| 5期(2021年11月15日) | 円 26,276 | % 43.2 | % 97.5 | % — | 百万円 213,866 |
| 6期(2022年11月14日) | 20,363 | △22.5 | 97.1 | — | 132,011 |
| 7期(2023年11月14日) | 28,172 | 38.3 | 99.1 | — | 150,096 |
| 8期(2024年11月14日) | 41,587 | 47.6 | 98.2 | — | 193,522 |
| 9期(2025年11月14日) | 48,592 | 16.8 | 99.4 | — | 204,434 |

*株式先物比率は買い建て比率ー売り建て比率。

*値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 株組入比率 | 株先物比率 | 式率 |
|---------------------|----------|-------|--------|-------|-----|
| | 期騰落 | 率 | | | |
| (期首) 2024年11月14日 | 円 41,587 | % — | % 98.2 | % — | % — |
| 11月末 | 40,535 | △ 2.5 | 97.3 | — | — |
| 12月末 | 43,417 | 4.4 | 98.4 | — | — |
| 2025年1月末 | 42,787 | 2.9 | 97.9 | — | — |
| 2月末 | 38,543 | △ 7.3 | 97.9 | — | — |
| 3月末 | 37,210 | △10.5 | 97.9 | — | — |
| 4月末 | 36,410 | △12.4 | 97.8 | — | — |
| 5月末 | 39,965 | △ 3.9 | 97.7 | — | — |
| 6月末 | 42,168 | 1.4 | 98.3 | — | — |
| 7月末 | 45,516 | 9.4 | 98.5 | — | — |
| 8月末 | 45,124 | 8.5 | 97.9 | — | — |
| 9月末 | 46,905 | 12.8 | 98.4 | — | — |
| 10月末 | 49,875 | 19.9 | 98.8 | — | — |
| (期末) 2025年11月14日 | 48,592 | 16.8 | 99.4 | — | — |

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率ー売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- 保有銘柄のうち、AIサーバーを多数接続して情報処理能力を高めるために必要な通信機器向け半導体の需要が堅調だった米国の半導体・半導体製造装置株などが上昇したこと
- 2025年1月にトランプ米大統領が就任初日の対中追加関税の発動を見送ったこと
- 4月に米国が相互関税の各国の上乗せ部分についての発動を90日間停止すると発表したこと
- 9月にFRB（米連邦準備制度理事会）が利下げを実施したこと

(下落要因)

- 保有銘柄のうち、顧客による自社開発進展や競合他社の新製品投入などによる競争環境の悪化により、業績成長が鈍化する懸念が生じた米国の通信機器株などが下落したこと
- 4月にトランプ米政権による相互関税の発表を受け世界的な景気減速への警戒感が高まったこと
- 8月に発表された7月の米雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を下回ったこと

○当ファンドのポートフォリオ

・期中の主な動き

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用拡大により中長期で成長が期待される情報技術セクターなどの投資比率を高めとしました。
- (2) 銘柄につきましては、自動車保険加入者が順調に増加していることに加えて運転データなどを分析し適切な保険料を算定することで利益が確保され中長期での業績成長が期待できると判断した米国の保険株や、自動車の電動化や安全機能の強化による部品価格上昇、自己修理の難しさにより専門性の高い修理サービスに対する需要が高まっていることなどから中長期的な成長が期待できると判断した米国の専門小売り株などを買い付けました。一方、AI用半導体需要の拡大による成長期待が一定程度株価に織り込まれたと判断した米国の半導体・半導体製造装置株や、取り扱いの難しいバイオ医薬品などの配送需要の高まりやAIを活用した受発注業務の効率化などによる業績拡大が一定程度株価に織り込まれたと判断した米国のヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービス株などについては売却を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

◎今後の運用方針

・投資環境

米国経済は、労働市場の弱さは見られるものの底堅く推移しています。雇用サービス会社のADPが公表する2025年9月の民間雇用者数は前月差-2.9万人と、8月（同一-0.3万人）に続き、2カ月連続で減少しましたが、10月は+4.2万人となりました。アトランタ連銀のGDP（国内総生産）予想では、7-9月期の実質GDP成長率は前期比年率+4.0%（11/5時点）と推計されています。物価面では、9月のCPI（消費者物価指数）が前年同月比+3.0%（8月同+2.9%）と小幅ですが加速しています。10月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、0.25%の利下げが決定されましたが、雇用の下振れリスクと物価の上振れリスクのどちらを重視するのかは意見が分かれており、今後の金融政策の不確実性は高く注視が必要です。

・運用方針

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

株式市場では、短期的にはトランプ米政権による関税政策や税制改革など、今後の景気見通しや金融政策、企業業績に及ぼす影響を注視しています。しかし、中長期的な視点では、多くの企業がAI技術の導入に言及するなど、幅広い業種でAI技術の活用による生産性向上が期待されます。AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がより強くなるという傾向がみられます。加えて、AIを活用したビジネス領域はますます拡大しており、情報技術だけでなく幅広い対象セクターから成長銘柄へ投資を行なってまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年11月15日～2025年11月14日)

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-------------------------------|-----------------|-----------------------------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 円 23 (23) | % 0.055 (0.055) | (a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) その他の費用 (保管費用) (その他) | 2 (2) (0) | 0.004 (0.004) (0.000) | (c) その他の費用=期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合計 | 25 | 0.060 | |
| 期中の平均基準価額は、42,371円です。 | | | |

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年11月15日～2025年11月14日)

株式

| 国内 | 上場 | 買付 | | 売付 | |
|----|-------------|--------------------------|--------------------------|--------------|----------------------|
| | | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 |
| | | 千株 — | 千円 — | 千株 158 | 千円 1,426,822 |
| 国外 | アメリカ | 百株 88,116 (12,610) | 千米ドル 1,339,063 (—) | 百株 87,587 | 千米ドル 1,447,857 |
| | デンマーク | — | 千デンマーククローネ — | 1,577 | 千デンマーククローネ 49,517 |
| | ユーロ オランダ | — | 千ユーロ 123 | — | 千ユーロ 10,964 |

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2024年11月15日～2025年11月14日)

○株式売買比率

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---------------------|---------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 421,051,153千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 191,626,077千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 2.19 |

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月15日～2025年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月14日現在)

国内株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当期末 | |
|---------------|---------|-------|-----------|--------|
| | 株数 | 千株 | 株数 | 千円 |
| 保険業 (90.6%) | | | | |
| 東京海上ホールディングス | 643.4 | 643.4 | 3,810,214 | |
| サービス業 (9.4%) | 207.4 | 48.7 | 394,616 | |
| リクルートホールディングス | | | | |
| 合計 | 株数 | ・ | 金額 | 850 |
| | 銘柄 | 数 | <比率> | 2 |
| | | | | <2.1%> |

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | | | 業種等 |
|------------------------------|---------|--------|---------|------------|-------------------------|
| | | 株数 | 株数 | 評価額 | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| (アメリカ) | 百株 | 百株 | 千米ドル | 千円 | |
| AMAZON.COM INC | 1,160 | 125 | 2,969 | 459,539 | 大規模小売り |
| APPLIED MATERIALS | 1,185 | — | — | — | 半導体・半導体製造装置 |
| ARISTA NETWORKS INC | 2,283 | — | — | — | 通信機器 |
| ARISTA NETWORKS INC | — | 3,470 | 45,214 | 6,996,429 | 通信機器 |
| ASTERA LABS INC | — | 1,666 | 24,068 | 3,724,390 | 半導体・半導体製造装置 |
| AXON ENTERPRISE INC | 401 | 776 | 43,245 | 6,691,840 | 航空宇宙・防衛 |
| BROADCOM INC | 4,972 | 3,048 | 103,625 | 16,035,072 | 半導体・半導体製造装置 |
| CDW CORPORATION | 1,399 | — | — | — | 電子装置・機器・部品 |
| CME GROUP INC | 478 | — | — | — | 資本市場 |
| CADENCE DESIGN SYS INC | 1,687 | 1,175 | 37,128 | 5,745,314 | ソフトウェア |
| CISCO SYSTEMS | — | 3,982 | 30,812 | 4,767,959 | 通信機器 |
| CLOUDFLARE INC - CLASS A | — | 1,267 | 27,055 | 4,186,570 | 情報技術サービス |
| COHERENT CORP | — | 3,651 | 51,103 | 7,907,685 | 電子装置・機器・部品 |
| CONFLUENT INC-CLASS A | — | 2,160 | 5,054 | 782,117 | ソフトウェア |
| COPART INC | 9,039 | 628 | 2,613 | 404,449 | 商業サービス・用品 |
| CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A | — | 569 | 30,144 | 4,664,557 | ソフトウェア |
| META PLATFORMS INC-CLASS A | — | 491 | 29,945 | 4,633,781 | インターネット・メディアおよびサービス |
| FAIR ISAAC CORP | — | 250 | 43,431 | 6,720,628 | ソフトウェア |
| ARTHUR J GALLAGHER & CO | 1,495 | 97 | 2,490 | 385,316 | 保険 |
| GE VENOVA INC | — | 45 | 2,511 | 388,670 | 電気設備 |
| IDEXX LABORATORIES INC | 239 | 45 | 3,156 | 488,461 | ヘルスケア機器・用品 |
| INTUITIVE SURGICAL INC | 349 | 63 | 3,562 | 551,294 | ヘルスケア機器・用品 |
| KLA CORP | 377 | 74 | 8,596 | 1,330,257 | 半導体・半導体製造装置 |
| KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC | — | 1,641 | 29,270 | 4,529,319 | 電子装置・機器・部品 |
| LAM RESEARCH CORP | 1,310 | — | — | — | 半導体・半導体製造装置 |
| LIVE NATION ENTERTAINMENT IN | — | 1,601 | 21,904 | 3,389,561 | 娯楽 |
| LUMENTUM HOLDINGS INC | — | 1,797 | 40,766 | 6,308,245 | 通信機器 |
| MSCI INC | 727 | 48 | 2,752 | 425,849 | 資本市場 |
| MARSH & MCLENNAN COS | 586 | — | — | — | 保険 |
| MARVELL TECHNOLOGY INC | 4,361 | — | — | — | 半導体・半導体製造装置 |
| MASTERCARD INC | 261 | 609 | 33,834 | 5,235,506 | 金融サービス |
| MCKESSON CORP | 732 | 79 | 6,685 | 1,034,482 | ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス |
| MICROSOFT CORP | 831 | 271 | 13,639 | 2,110,523 | ソフトウェア |
| MICRON TECHNOLOGY | 1,075 | 1,973 | 46,750 | 7,234,131 | 半導体・半導体製造装置 |
| MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC | — | 288 | 26,619 | 4,119,109 | 半導体・半導体製造装置 |
| MOTOROLA SOLUTIONS INC | 925 | 61 | 2,338 | 361,877 | 通信機器 |
| NVIDIA CORP | 3,888 | 5,812 | 108,603 | 16,805,233 | 半導体・半導体製造装置 |
| O'REILLY AUTOMOTIVE INC, | — | 5,537 | 54,456 | 8,426,582 | 専門小売り |
| ORACLE CORPORATION | 654 | — | — | — | ソフトウェア |
| PROCORE TECHNOLOGIES INC | 1,713 | — | — | — | ソフトウェア |
| PROGRESSIVE CO | 2,664 | 4,949 | 110,436 | 17,089,011 | 保険 |
| QUALCOMM INC | 1,478 | 177 | 3,088 | 477,937 | 半導体・半導体製造装置 |
| ROBINHOOD MARKETS INC -A | — | 2,062 | 25,059 | 3,877,704 | 資本市場 |
| SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A | 6,491 | 3,550 | 25,652 | 3,969,436 | 金融サービス |
| TRADE DESK INC/THE -CLASS A | 3,218 | 11,050 | 47,371 | 7,330,242 | メディア |
| THERMO FISHER SCIENTIFIC INC | 99 | 49 | 2,842 | 439,869 | ライフサイエンス・ツール/サービス |
| TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A | 1,904 | 4,979 | 54,783 | 8,477,266 | 資本市場 |
| UBER TECHNOLOGIES INC | 3,403 | 2,947 | 27,047 | 4,185,340 | 陸上運輸 |
| UNITEDHEALTH GROUP INC | 704 | 305 | 10,141 | 1,569,351 | ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス |
| WESTERN DIGITAL CORP | — | 2,699 | 42,417 | 6,563,681 | コンピュータ・周辺機器 |

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | | | | 業種等 | |
|-------------------------------|------------------|--------------|--------------|-----------------|------------------------|-------------|--|
| | | 株数 | 株数 | 評価額 | | | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| (アメリカ) ZSCALER INC | 百株 929 | 百株 90 | | 千米ドル 2,777 | 千円 429,774 | ソフトウェア | |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 63,017 34 | 76,156 42 | 1,235,972 — | 191,254,379 <93.6%> | | |
| (デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B | 1,577 | — | — | 千デンマーククローネ — | — | 医薬品 | |
| 小計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 1,577 1 | — | — | — | <-%> | |
| (ヨーロ…オランダ) ASML HOLDING NV | 362 | 485 | | 千ユーロ 42,752 | 7,692,074 | 半導体・半導体製造装置 | |
| ユ一口計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 362 1 | 485 1 | 42,752 — | 7,692,074 <3.8%> | | |
| 合計 | 株数・金額 銘柄数<比率> | 64,956 36 | 76,641 43 | — | 198,946,453 <97.3%> | | |

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2025年11月14日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|-------------------|-----------|
| | 評価額 | 比率 |
| 株式 | 千円 203,151,284 | % 99.4 |
| コール・ローン等、その他 | 1,282,745 | 0.6 |
| 投資信託財産総額 | 204,434,029 | 100.0 |

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産（199,047,778千円）の投資信託財産総額（204,434,029千円）に対する比率は97.4%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。1米ドル=154.74円、1ユーロ=179.92円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月14日現在)

| 項目 | 当期末 |
|-----------------|-----------------|
| (A) 資産 | 円 |
| コード・ローン等 | 204,434,029,567 |
| 株式(評価額) | 1,214,407,444 |
| 未収配当金 | 203,151,284,759 |
| 未収利息 | 68,322,424 |
| 未収利息 | 14,940 |
| (B) 負債 | 0 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 204,434,029,567 |
| 元本 | 42,071,930,763 |
| 次期繰越損益金 | 162,362,098,804 |
| (D) 受益権総口数 | 42,071,930,763口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 48,592円 |

(注) 期首元本額は46,534,275,513円、期中追加設定元本額は30,009,850,592円、期中一部解約元本額は34,472,195,342円、1口当たり純資産額は4,8592円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース 29,137,304,465円
 ・野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース 12,934,407,387円
 ・野村DCグローバルAI関連株式ファンド 218,911円

○損益の状況 (2024年11月15日～2025年11月14日)

| 項目 | 当期末 |
|------------------|------------------|
| (A) 配当等収益 | 円 |
| 受取配当金 | 1,203,554,873 |
| 受取利息 | 1,146,305,740 |
| その他収益金 | 55,031,997 |
| その他収益金 | 2,217,136 |
| (B) 有価証券売買損益 | 30,089,165,561 |
| 売買益 | 60,481,867,392 |
| 売買損 | △ 30,392,701,831 |
| (C) 保管費用等 | △ 6,961,409 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 31,285,759,025 |
| (E) 前期繰越損益金 | 146,987,872,784 |
| (F) 追加信託差損益金 | 96,836,577,196 |
| (G) 解約差損益金 | △112,748,110,201 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 162,362,098,804 |
| 次期繰越損益金(H) | 162,362,098,804 |

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>